

**\* 東京天文台創立100周年記念切手1シートの寄贈**

アーカイブ室新聞305号に、国立天文台長から国立天文台（東京天文台、緯度観測所などを含む）に関連した記念切手をアーカイブ室で收藏してはどうかという話があったという記事を書き、国立天文台に限らず天文学に関係した記念切手の收藏を始め、関連の記事をアーカイブ室新聞、310号、314号、316号、331号に書いた。

5月20日、国立天文台を訪ねて来られた天文学史研究家の佐藤利男氏が東京天文台100周年記念切手をシートで持っていると言われ寄贈して下さった（写真1）。

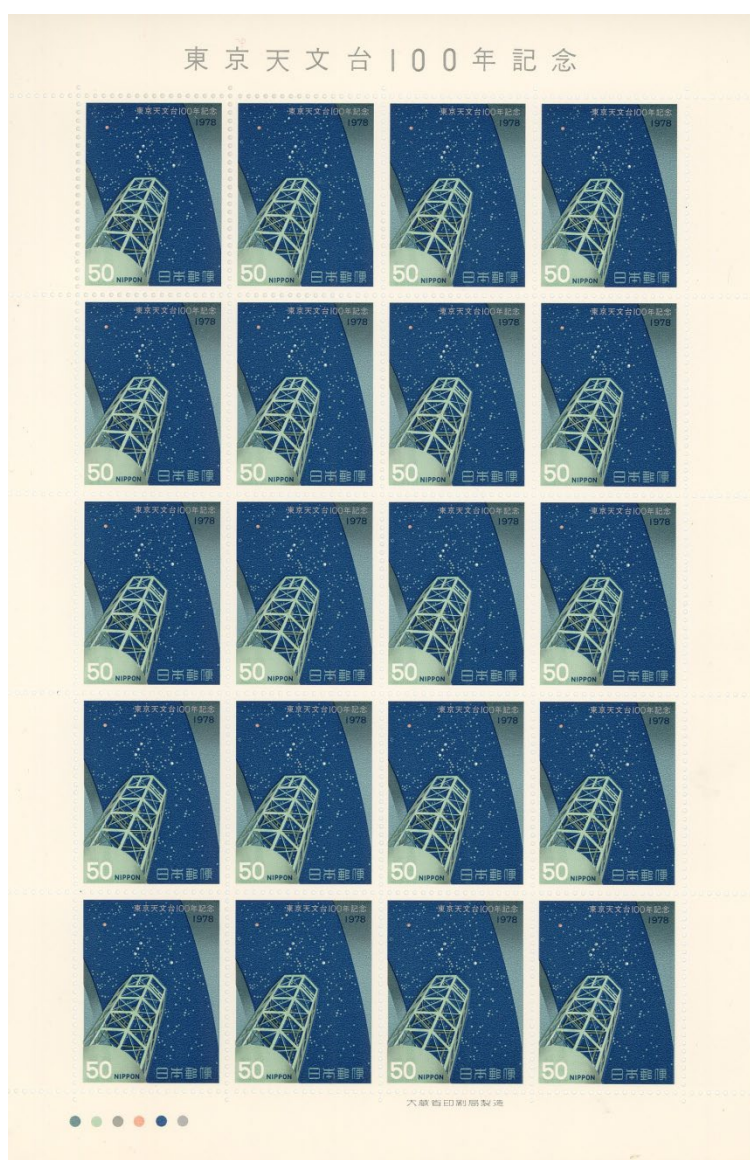


写真1 東京天文台100周年記念切手

実は、国立天文台に関係した記念切手は意外と少ないのである。佐藤利男氏が言うには、「東京天文台の75年記念切手、100年記念切手、岡山天体物理観測所開所記念切手など、郵政省が勝手に作るわけではないので、記念切手を発行した際、東京天文台にそれなりの形で贈られているはずだが」、とおっしゃるのである。筆者も当然そうだと思うが、そういったものを国立天文台（東京天文台）当局が保管して引き継いでいるという話は聞いたことがない。もしそのような記念切手の保管・継承があるならば、台長からアーカイブ室で収蔵してはという提案が出るはずがないのである。